

環境経営レポート

＜2023年度版＞

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日



藤森碎石株式会社
発行日：2024年8月31日

目次

1. 組織の概要	1P
2. 対象範囲	1P
3. 実施体制	2P
4. 環境経営方針	3P
5. 環境経営目標(中長期)	4P
6. 環境経営計画	4P
7. 環境経営目標の実績と評価	5P
8. 環境経営活動の結果と評価・次年度の取組	6P
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反訴訟などの有無	7P
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	7P

1. 組織の概要

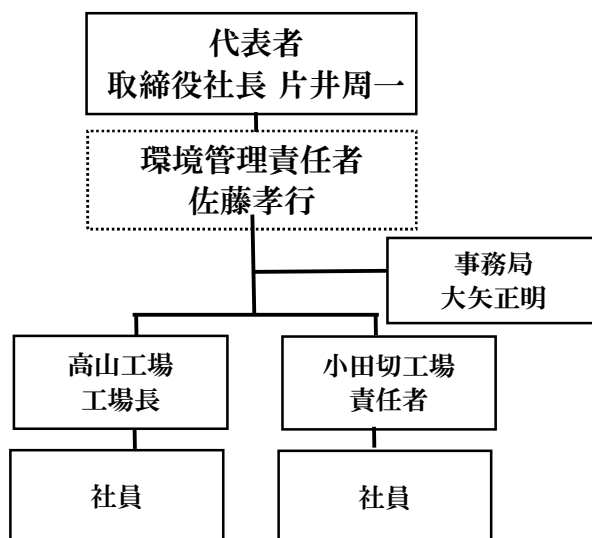
- 1 名称及び代表者名
事業所名 藤森碎石 株式会社
取締役社長 片井 周一
- (2) 所在地
本社(高山工場) 〒382-0800
長野県上高井郡高山村大字中山67-1
小田切工場 〒380-0875
長野県長野市大字小鍋上原5827
- (3) 環境管理責任者・連絡先
責任者 佐藤 孝行
連絡先 TEL : 026-245-0190
fax : 026-245-8297
E-mail : t.satou@shiosawa-group.jp
- (4) 事業内容
採石業
- (5) 事業の規模
創業 2021年塩沢グループ参 <https://www.shiosawa-group.jp>
資本金 1,000万円
売上高 50,466万円
敷地面積 593,779m²
従業員 28名

2. 対象範囲

- ・全組織、全活動、全従業員が対象である
- ・事業年度:4月～3月
- ・レポート対象期間:2023年4月1日～2024年3月31日

3. 実施体制

1) 組織図



2) 責任及び権限

代表者	- 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 - システムの構築・運用及び管理に必要な資源を用意する。 - 環境経営方針の設定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。 - 代表者による全体の評価と見直しを実施する。
管理責任者	- 代表者に代わりシステムの構築・運用状況を監視、結果を代表者に報告する。 - 環境関連法規等の取りまとめを行い、遵守状況をチェックする。 - 環境目標を設定し、環境活動計画を確認し承認する。 - 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。
事務局	- 環境管理責任者の補佐、推進委員会の事務局。 - 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成。 - 環境目標・活動計画原案の作成及び実績の取りまとめ - 環境経営レポートの作成、公開（社内に備付けと地域事務局への送付） - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者	- 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 - 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施と記録。 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	- 環境経営方針、環境経営目標を基本に定められた活動計画に従い業務を遂行する。 - 環境負荷の低減、品質向上、安全の確保と業務改善の提案 - 異常時、緊急時の報告

4. 環 境 経 営 方 針

【基本理念】

『人のため・地域のため・自然のため』

藤森碎石株式会社は、持続可能な地域産業として常に課題を設け、特に自然環境の修復には配慮し、人々から認められるように目標を掲げ企業経営を行ってまいります。

【環境経営方針】

☆地球温暖化・自然生態系・資源等に影響を及ぼす産業であり、当社の事業活動に関わる自然環境影響を常に認識理解し、塩沢グループとの連携を密にし、環境への配慮も企業活動の大きな役割として捉え、新たな一步をあゆみ信頼される企業を目指しております。

1 環境関連の法令・条例及び当社が受入れを決めたその他の要求事項を遵守すると共に、地域・顧客の環境関連要求事項に配慮し、継続的な環境活動の改善を図ります。

2 事業に伴う環境負担を低減し環境への影響を最小限にとどめるため、下記の取組みを行います。

- ① 化石燃料や電気使用などからの二酸化炭素排出量の低減。
- ② 碎石工場での原石採取地復旧のための緑化・植樹活動。
- ③ 各事業部所在地域の道路清掃などの環境保全活動の推進。
- ④ 事業計画に基づく全社員でのエコアクション21活動の促進。

3 環境経営方針は全社員に周知すると共に、社内外に公開致します。

制定日：2022年10月3日

改定日：2024年6月1日

藤森碎石株式会社

社長 片井 周一

5. 環境経営目標（中長期）

2023年4月～2024年3月

項 目		単 位	基準値(2022年)	2023年目標	2024年目標	2025年目標
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	2,320,611	2,297,405	2,274,199	2,250,993
		(%)	100%	99%	98%	97%
	電力	kWh	1,814,804	1,796,656	1,778,508	1,760,360
	ガソリン	ℓ	2,979	2,949	2,919	2,890
	軽油	ℓ	618,392	612,208	606,024	599,840
	灯油	ℓ	5,636	5,580	5,523	5,467
	LPG	kg	25	24	24	24
	一般廃棄物	kg	0	0	0	0
	産業廃棄物	kg	315	312	309	306
水使用量		m ³	772	764	757	749

中部電力㈱ 2022年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.495kg-CO2/kWhを使用

6. 環境経営計画

(1) 二酸化炭素削減について

電気使用量の削減	節電の徹底 →	事務所内…外出時／不在時の消灯徹底する
	→	事務所／倉庫の不要照明・不要換気扇オフ
	OA機器適正管理 →	未使用時電源オフ・節電モードの徹底
	退社時電源チェッ →	目視確認
	クールビズの徹底 →	毎年5月から10月まで実施する

全車両（会社所有、通勤車両）に適用する

ガソリン、軽油使用量の削減	エコドライブの実施 →	急発進・急停止排除、経済速度の励行
	アイドリングストップ →	エンジン停止、空ふかし排除
	運行車両の削減 →	乗り合わせなどにより運行車両を減らす
	車両管理の徹底 →	車両点検、適正空気圧、エンジンオイル等の管理
	運行管理の徹底 →	最適運行最短距離の選択

灯油使用量の削減	灯油ストーブ温度管理の徹底 →	ムダなストーブを使用しない(冬季20℃～22℃)
	退社時電源チェッ →	目視確認(最終退出者と同伴者)

廃棄物排出量の削減	一般可燃ごみ削減 →	無駄なコピーをしない／不要な資料の削減
	混合廃棄物の分別 →	再利用の促進(コピー用紙裏表利用) 産業廃棄物と有価物の分別を確実にを行う

(2) 水使用量の削減

節水の徹底 →	清掃時、手洗い時節水を各自にて行う
---------	-------------------

7. 環境経営目標の実績と評価

2023年4月～2024年3月

項目		基準値 (2022年度)	2023年度 目標値	2023年度実績
CO2総排出量(kg-CO2)		2,320,611	99% 2,297,405	2,857,908
電力	kWh	1,814,804	99% 1,796,656	2,662,612
	kg-CO2	898,328		1,317,993
ガソリン	ℓ	2,979	99% 2,949	8,010
	kg-CO2	6,911		18,584
軽油	ℓ	618,392	99% 612,208	585,639
	kg-CO2	1,595,451		1,510,948
灯油	ℓ	5,636	99% 5,580	4,146
	kg-CO2	14,034		10,324
LPG	kg	25.00	99% 24.75	19.75
	kg-CO2	75		59
上水道	m ³	772	99% 764	960
一般廃棄物	kg		99%	
産業廃棄物	kg	315	99% 312	361

中部電力(株) 2022度 二酸化炭素調整後排出係数 0.495kg-CO2/kWhを使用

2023年度実績の評価

- (1) 電力
期間中における使用量は削減できた、今後も節電に努める
- (2) 軽油、ガソリン
効率的なダンプの配車による削減ができた
- (3) 灯油
気温低下によるストーブの使用量が増えたため
- (4) 上水道
今後も節水に努める
- (5) 産業廃棄物
企業系一般廃棄物も、産業廃棄物として処分をしてもらっている為、混合廃棄物が多い
今後は、細かい分別を行い、混合廃棄物を減らしていく

8. 環境経営活動の結果と評価、次年度の取り組み

○できた ×できなかった

	活動計画	取組の結果	評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	・昼休みの節電(消灯)	昼休み時間消灯ほぼできた	○	更に1分でも節電に努める
	・待機電気機器のスイッチ節電	コンセントから抜くことを実施した	×	一部待機機器があったので是正したい
	・使用量、使用料金の把握	把握して現状がわかった	○	今後も把握し節電に努める
	・ガソリン使用量の削減(基準年比1%削減)	日常点検とアイドリングストップは出来た	○	昨年同様、車両の適正な管理に取り組む
	・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)	急発進・急ブレーキなどは達成感があると感じた	○	マニュアルの配布をし継続した取り組みを行う
	・適性時期のタイヤ交換(夏/冬、摩耗)	温暖化傾向なので早めに夏タイヤに変えた	○	冬季も次年度も継続していきたい
	・軽油使用量の削減(基準年比1%削減)	仕事量の増加に伴い重機の稼働が増えた	×	今後も効率の良い仕事に努める
廃棄物削減	・一般廃棄物の削減(基準年比1%削減)	量の把握ができていない		今後も継続して取り組みたい
	・産業廃棄物の削減 ・分別と再生利用の促進	量の把握ができていない		量は増えたが今後も分別を徹底し再資源化量を維持していく
用水	・水使用量削減(基準年比1%削減)	使用量は、少ない	×	節水に努める

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価、並びに違反及び訴訟の有無

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

注) チェック欄…○遵守 ×不遵守

環境関連法規等の名称	適用される事項 (施設、物質、事業活動)	証拠書類、等	判定
砂利採取法	砂利採取業の登録 砂利採取業務責任者の配置 有資格者の確認	登録の確認 合格証 資格者の確認	○ ○ ○
採石法	採石業登録申請 採石採取業務主任者の配置 採取計画許可申請 採石法で定められた事項の掲示	登録の確認 合格証 許可証 掲示確認	○ ○ ○ ○
火薬類取締法	火薬類取扱保安責任者の配置	合格証	○
水質汚濁防止法	特定施設設置	届出書	○
大気汚染防止法	一般粉塵施設の設置	届出書	○
廃棄物処理法	廃棄物(金属くず、廃プラ、廃油等)の 適正処理の徹底 契約書、マニフェスト、帳簿の記載	契約書・許可書 マニフェスト	○
フロン排出制御法	業務用エアコンの3ヶ月に1回以上の 簡易点検の実施	点検記録	○
道路運送車両法	安全運転管理者選任 定期点検の実施	選任確認 実施確認	○ ○
消防法	少量危険物貯蔵届出書 危険物の取扱い	届出書 有資格者の立会	○ ○
電波法	簡易無線局の開設、増設許可 有効期限の遵守	許可書 遵守確認	
労働安全衛生法	安全衛生管理体制 定期健康診断・有害業務検診 有資格者の確認	管理体制の確立と実施 実施確認 資格者の確認	○ ○ ○
道路交通法	アルコールチェッカー	対面でチェックシートを 手渡す(アルコールの匂 いを確認する)	○

(2) 違反及び訴訟の有無

上記環境関連法については、遵守チェックリストにより、確実に法規を遵守していることを
2024年7月31日に確認しました。

10. 経営者の見直し評価と指示

【取り組みの概要】

エコアクション21に取組み始めて、節電、エコドライブなどの意識の高まりができています

【取り組みの評価】

今まで明確な目標値を設定していなかったが年間を通し活動した結果、ムダの発見に繋がった。
今後を見据え、更に削減に取り組んでいく。

【今後の取り組み】

今後も社員教育を実施し規則に沿った取り組みをしていきたい。

尚、今年度において環境経営方針、環境経営目標及び計画、実施体制に変更はありません。